

平成25年5月21日

【別紙2】平成24年度施策実施状況報告書

<p>□施策名</p> <p>世界最高健康都市構想及び実現プランについて</p>	<p>□施策区分</p> <p>① 世界最高健康都市の構築 2. 交流人口の創出 3. 地域経済の活性化</p> <p>4. 安心安全な子育て支援 5. 徹底した情報公開による市民参加型市政の実現 6. その他</p>	<p>□所管部署</p> <p>企画部 企画課 直通：0267-62-3067 kikaku@city.saku.nagano.jp</p>
<p>□目的又は成果の目標</p> <p>できるだけ多くの市民が、「私は、健康です。」「私は、幸せです。」「佐久市は、住みやすいまちです。」と感ずることができる。</p>	<p>□予算措置の状況</p> <p>○平成24年度決算見込み 千円 ----- ○平成25年度当初予算 千円</p>	

□施策概要

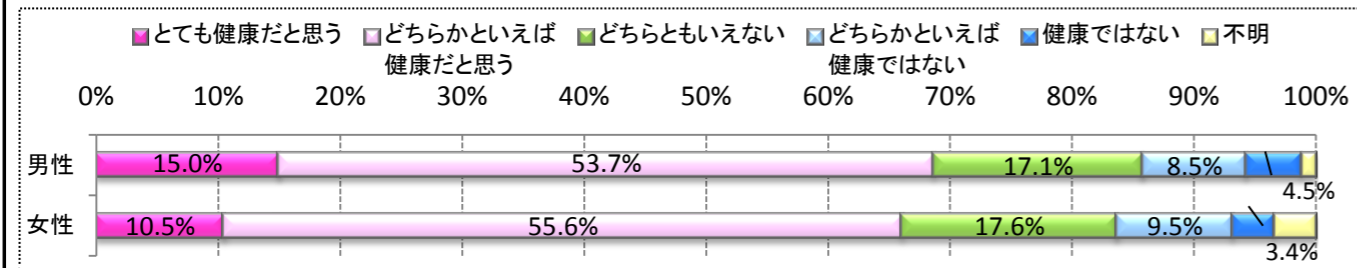
平成24年度 市民アンケート結果(抜粋)

世界最高健康都市の構築の実現に向け、本市では、市民の皆さんの「健康感」「幸福感」「住みやすさ感」を高めていくことを目標にしています。そこで、平成24年度は、これら3指標に関する意識を把握するため、アンケート調査を実施しました。

- 調査対象：市内に在住する16歳以上の男女1,000人（住民基本台帳から無作為抽出）
- 調査時期：平成24年8月16日～9月7日
- 有効回答：541人（回収率 54.1%）

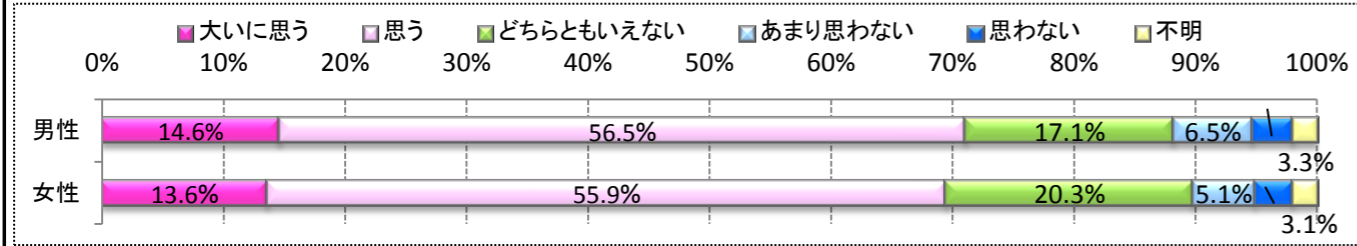
佐久市では、合併以来、2度の市民アンケートにおいて「住みやすさ感」を把握してきましたが、「健康感」「幸福感」については、今回が初の調査になりました。

① 現在、あなたは健康だと思いますか。 【男女別集計】



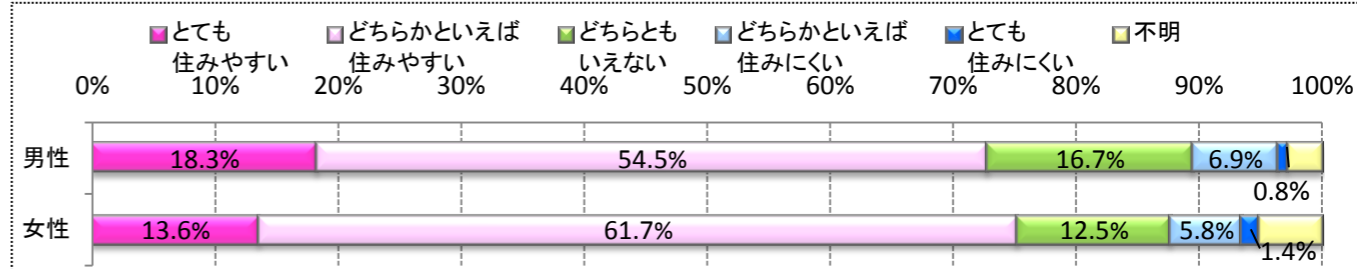
自分の健康感について「とても健康だと思う」「どちらかといえば健康だと思う」と回答した人は、男性で68.7%、女性で66.1%にのぼります。また、「健康ではない」「どちらかといえば健康ではない」と回答した人は、男性で13.0%、女性で12.9%にのぼります。

② 現在、あなたは幸せだと思いますか。 【男女別集計】



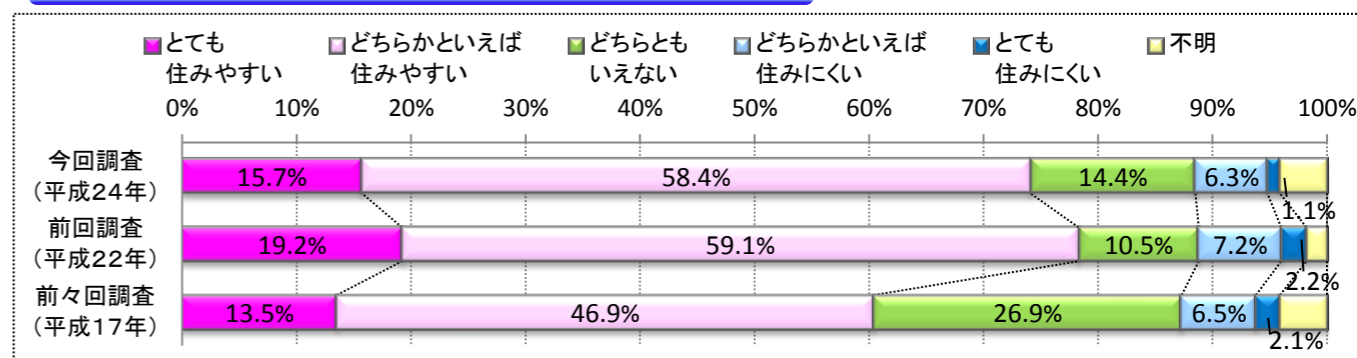
自分が幸せかどうかについて「大いに思う」「思う」と回答した人は、男性で71.1%、女性で69.5%にのぼります。また、「思わない」「あまり思わない」と回答した人は、男性で9.8%、女性で8.2%にのぼります。

③ 佐久市は、住みやすいまちですか。 【男女別集計】



佐久市の住みやすさ感について「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人は、男性で72.8%、女性で75.3%にのぼります。また、「とても住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と回答した人は、男性で7.7%、女性で7.2%にのぼります。

④ 住みやすさ感に関する市民意識の経年変化 【全体集計】



今回の調査では、佐久市を「とても住みやすい」とした人は15.7%、「どちらかといえば住みやすい」とした人は58.4%、全体で74.1%が佐久市を住みやすいと回答しています。「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した方は、平成22年の前回の調査と比べると4.2ポイント減少しましたが、平成17年の前々回の調査と比べると13.7ポイント上昇したことになります。また、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」との回答は、前回の調査に比べて2.0ポイント、前々回と比べて1.2ポイント減少しています。

今回の調査は、本市が「健康感」「幸福感」「住みやすさ感」の限りない高みを目指すための考察のベースになるもので、世界最高健康都市の構築に向けた取り組みを進めるにあたり、大きな意義があります。今後は、世界最高健康都市構想及び実現プランに定めた個別の取り組みを進めつつ、3つの指標の進捗状況を把握するため、2年サイクルで同様のアンケート調査を実施します。